

2 実践の位置付け

(1) 小学校学習指導要領との関連

内容(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (一部省略) 我が国の歴史的事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。

イ (ア)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現する。

「小学校学習指導要領」第6学年の内容(2)のア、イ(ア)に基づいて設定されたものである。ここでは、「我が国の歴史的事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解するとともに、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること」をねらいとしている。

本実践では、歴史学習の導入で「なぜ歴史を学ぶのだろうか」という大単元の学習問題をつくることで、歴史単元全体を通して問題意識や追究意欲を持てるようにする。また、「歴史を学ぶ4つの視点」について第3、4学年の副読本を活用して設定する。このことで、それぞれの時代の特色について考えるだけでなく、各時代を比較関連付けしながら学び、日本の歴史の展開について考えることができるようにする。さらに、各時代(小単元)の振り返りを4つの視点を示した「歴史振り返り帳」に蓄積していくことで、歴史学習における見方・考え方の質を高めていく。

歴史学習の終末では、これまで蓄積してきた振り返りをもとに、歴史学習全体を振り返りながら大単元の学習問題の結論について話し合い、歴史論文にまとめる。このことで、歴史学習で学んだことの価値に気づかせ、歴史を学ぶ意味について考え、表現することができるようにする。歴史学習を通して自分が何を学んだか振り返ることで、人物の優れた業績や文化の積み重ねの上に今日の社会が成り立っていることがわかり、歴史に関心や愛情をもってかかわる態度や、自らが新しい歴史をつくっていく担い手として社会にかかわろうとする意欲を育てようとする。

(2) 実践のポイントの学習評価との関連

- ・大単元全体を通して児童の変容を見取ることができる評価方法の実施

「歴史振り返り帳」に各時代(小単元毎)の振り返りを蓄積することで、教師は児童の歴史学習全体での変容を捉え、評価することができる。また、児童自身も、自ら記述を振り返ることで、自己の変容に気づくことができると考える。例えば、室町時代の文化の学習の際、平安時代の文化の学習の振り返り記述から、導入の場面では室町の文化は平安の文化とどう違うのか問いを持ったり、まとめる場面では、平安と室町の文化を比較・関連付けして、その特色について考えたりすることができる。同じように、明治維新の学習では、飛鳥～奈良の学習の振り返り記述から、明治の国づくりについて予想することができる。

- ・大単元全体の主体的に学習に取り組む態度の評価

「なぜ日本の歴史を学ぶのか」という大単元の学習問題に対しての自分の考えを、歴史論文に表現する。このことで、「日本の歴史」全体を通して培った、児童の歴史に関心や愛着をもって関わる態度や、これからの歴史をつくっていく担い手として社会に関わろうとする意欲等を、教師が見とることができるようにする。

3 実践の内容

(1) 単元の目標と評価規準

現在の自分たちと過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、これまでの歴史学習全体を振り返ることで、歴史を学ぶ意味について考え表現し、自己の生き方や社会の発展のために生かしていこうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①歴史学習で取り上げる時代区分や年表の見方、歴史を学ぶ視点（人物、出来事、文化遺産）について理解している。	①これまでの歴史学習全体を振り返り、これからの自分や日本の社会と、歴史や歴史学習との関わりを関連付けて考え、歴史を学ぶ意味について適切に表現している。	①現在の自分たちと過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味について考えようとしている。

(2) 指導計画と評価計画（3時間）

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

○内の数字は時間を表す。

知：知識・技能 思：思考・判断・表現

〈 〉内は、評価の方法を表す。

態：主体的に取り組む態度

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法	資料
つかむ (4月に実施)	①時代区分や年表の見方を知り、副読本「かわぐち」からこれまでも身近な歴史的事象について学習してきたことに気付かせ、歴史を学ぶ視点を捉え、大単元「日本の歴史」の学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">実践のポイント (1)</div> <ul style="list-style-type: none"> ・時代区分（時代、世紀、西暦、元号） ・年表の見方 ・歴史を学ぶ4つの視点（「人物の働き」「世の中の様子や人々の暮らし」「文化」「世界とのつながり」） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学習問題 わたしたちは、なぜ歴史を学ぶのだろうか。 </div>	知① 歴史学習で取り上げる時代区分や年表の見方、歴史を学ぶ視点について理解している。 〈ノート〉 態① これからの歴史学習に関心を持ち、歴史を学ぶ意味について自分なりの予想を考えようとしている。 〈ノート〉	・年表
調べる	大単元「日本の歴史」	※「歴史振り返り帳」は、各小単元の終末で評価を行う。	
まとめる	②「歴史振り返り帳」をもとに、これまでの歴史学習をふりかえり、なぜ歴史を学ぶのか話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px 0;">実践のポイント (2)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 【学習課題】 これまでの歴史学習をふりかえり、歴史を学ぶ意味を考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい日本や国際社会を作っていくための教訓 ・優れた文化遺産や伝統文化の保存・継承・発展 	態① これまでの歴史学習を振り返り、歴史を学ぶ意味を考え、よりよい社会の形成に生かそうとしている。 〈ノート・発言〉	・年表 ・歴史振り返り帳

<p>学習問題の結論</p> <p>〈予想される児童の記述例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の先人のはたらきや出来事から学んで、自分の生き方について考えるため ・今の日本を更に発展させたり、問題を解決したりして、日本をよりよい社会にするため ・日本の文化を大切にし、未来に残したり、世界に広めたりしていくため ・世界の国々と互いに理解し合うため ・先人のはたらきを知り、感謝し、それを今度は自分たちが伝えていくため 		
<p>③「歴史を学ぶ意味」について考え、歴史論文で表現し、友達と交流する。</p> <p>【学習課題】「わたしの歴史論文」を書き、歴史文集にまとめよう。</p> <p>・歴史論文の書き方</p> <p>【予想される児童の振り返り（例）】 これからも歴史を学び、生かしていくことで、日本の社会や、将来の自分をよりよくしていきたいと思いました。</p>	<p>実践のポイント（1）</p>	<p>思① これからの自分や日本の社会と、歴史や歴史学習との関わりを関連付けて考え、歴史を学ぶ意味について適切に表現している。 〈歴史論文〉</p> <p>態① 現在の自分たちと過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味について考えている。 〈歴史論文〉</p>
		<p>・歴史振り返り帳</p>

4 実践結果と考察

(1) 大単元の学習問題を設定することで歴史学習全体を通して歴史を学ぶ意味を考える単元構想

歴史単元の導入である第1時では、副読本を使って既習の地域の歴史的内容（第3学年の市町村の歴史、第4学年の郷土の発展に尽くした人物など）を振り返る場面を設けた。児童は、地域の歴史を学んだ時に「過去の積み重ねで地域の今があることがわかった」ということや、「感謝の気持ちをもった」ことなどを想起していた。その上で、「では、どうして日本全体の歴史を学習するの？」と教師が問い、予想させることで、歴史学習のスタートの時点で、児童が歴史を学ぶ意味について考える学習問題の設定と動機付けを行うことができた。このことで、児童は、歴史単元全体を通して、「今の自分とどんなつながりがあるのか？」「なぜ歴史を学ぶのか？」等、常に歴史的事象と対話しながら学ぶことができた。

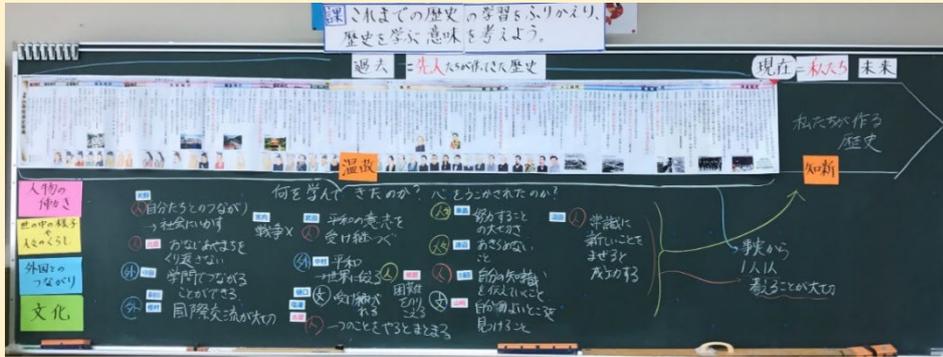
4 井沢弥惣兵衛	3 昔の道具くらし
5 ヨハネス・テレーケ	5 食生活 <small>①メタワラシクミの</small>
	5 米づくりの方法 <small>中9 様子</small>
① 人物の働き	5 高度経済成長期
	5 自動車の普及
4 見沼代用水	② 国原爆
3 いものづくり	5 沖縄にアメリカ
4 川越	軍の基地
3 ししまい	
初年太だいニ	③ 外国とのつながり
② 文化財	

【既習から歴史を学ぶ4つの視点を導き出す(第1時)】

この学習をし、やっぱり学び合っていて大事だなと思いました。
外国から学び、生かす... 規模が違いますが、私たちの学び合いにも生かせると思いました。

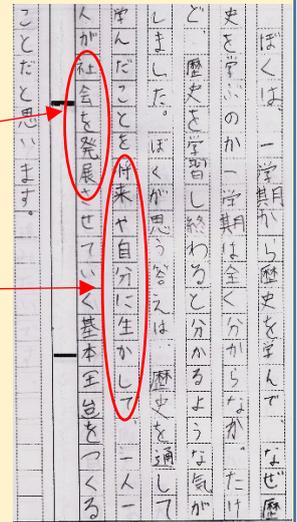
【小単元「天皇中心の政治」で学んだことから自分の生き方を考える児童の振り返り】

全ての時代の学習を終えて迎えた第2時では、歴史を学ぶ意味について話し合った。「なぜ歴史を学ぶのか」という抽象的な問いであったが、「歴史から何を学んできたのか?」という発問で話し合いの方向付けを行い、「歴史振り返り帳」をもとに自分の意見を考え、話し合うことができた。その際、年表を板書に示し、「過去（先人が作ったきた歴史）・現在（私たち）・未来（私たちが作る歴史）」というように時間軸を可視化したことや、国語で学んだ四字熟語「温故知新」を想起させ、その語彙を確かめることも、話し合いの方向付けに有効に働いた。



〈児童が導き出した歴史を学ぶ意味〉※歴史意見文より 児童数…35名

- ・よりよい日本の社会や国際社会をつかっていくための教訓…24名
- ・文化遺産や伝統文化の保存・継承・発展 …6名
- ・歴史に対する誇りや愛情、感謝 …8名
- ・自己の生き方 …19名
- ・上記について、複数の視点の考えをもった児童 …28名
- ・その他 …4名
(命の大切さ3名、人と意見や考えを伝え合うことの大切さ1名)
- ・意見文が書けなかった児童 …0名



児童の歴史意見文書き出し(例)

【第2時の板書や児童の考えと第3時の児童の歴史論文のつながり】

(2) 毎小単元の学びを「歴史を学ぶ4つの視点」で記述・蓄積する「歴史振り返り帳」

(1)で述べた、既習の地域の歴史に関わる学習を振り返る活動を通して、歴史を学ぶ4つの視点を見つけた。(例:井沢弥惣兵衛→人物のはたらき、昔の道具→人々のくらしや世の中の様子 etc.)そして、その視点に基づいて各小単元のふりかえりを「歴史振り返りシート」に記録し蓄積していった。このことで、前の時代との変化や現代とのつながりなどについて、4つの視点で大きくとらえながら各小単元の学習を進め、見方・考え方を働かせた学習を、歴史学習全体を通して積み重ねることができた。また、そのような振り返りは、歴史振り返り帳の記述に限らず、単元テストの記述等にもみられるようになった。

(2) (1)で選んだ学習を理解するために、あなたはどのようなくふうをしましたか。



平安時代とどのようにちがうか考えました。ふんいきはちがうけれど今も残っている文化としては似ていると思いました。これからは、同じようなことがあった時代と比べ、どうちがうかまた、同じところはどこか考えていこう

【各時代を比較したり、今後の学びに見通しをもったりしている児童の振り返りの例】

